

蛍舟

中園 倫

木洩れ日の眩まぶしき未来あすや夏来る

いつしかに炎へ果つ面影ひとと知りつつも

人恋ふて光芒あをき聞蛍

ほうたるの燃ゆる命のひと夜舟

やは肌に夜風戯たはむる夕端居

ほんのりと艶紅粧めかし蛍舟

ひと夏の命弾みて華はなとなり

袖返し夢に溺るる夜半の夏